

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 3 月 2 日 (2017.3.2)

【公開番号】特開 2015-155941 (P2015-155941A)
 【公開日】平成 27 年 8 月 27 日 (2015.8.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-054
 【出願番号】特願 2014-30276 (P2014-30276)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/08 5 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 30 日 (2017.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

潜像担持体に対して対向配置される現像剤担持体と、
 前記潜像担持体と前記現像剤担持体とが対向する現像領域に、トナーを往復運動させながら現像剤担持体側から潜像担持体側へ移動させる交番電界を形成するために、前記現像剤担持体に交番電圧を印加する交番電圧印加手段とを有する現像装置において、
 交番電圧の周波数の切り替えと、前記周波数に応じて D u t y 比の切り替えとを行う制御部を備えたことを特徴とする現像装置。

【請求項 2】

請求項 1 の現像装置において、前記交番電圧は、周波数が 10 [k H z] 以上 20 [k H z] 未満では、D u t y 比が 4 [%] 以上 8 [%] 未満であることを特徴とする現像装置。

【請求項 3】

請求項 1 の現像装置において、前記交番電圧は、周波数が 20 [k H z] 以上 40 [k H z] 未満では、D u t y 比が 8 [%] 以上 16 [%] 未満であることを特徴とする現像装置。

【請求項 4】

請求項 1 の現像装置において、前記交番電圧は、周波数が 40 [k H z] 以上 60 [k H z] 未満では、D u t y 比が 16 [%] 以上 31 [%] 未満であることを特徴とする現像装置。

【請求項 5】

請求項 1 の現像装置において、前記交番電圧は、周波数が 60 [k H z] 以上 80 [k H z] 未満では、D u t y が 31 [%] 以上 46 [%] 未満であることを特徴とする現像装置。

【請求項 6】

請求項 1 の現像装置において、前記交番電圧は、周波数が 80 [k H z] では、D u t y が 46 [%] 以上 70 [%] 以下であることを特徴とする現像装置。

【請求項 7】

潜像担持体と、該潜像担持体上に潜像を形成する潜像形成手段と、該潜像担持体上の潜像にトナーを付着させる現像処理を行う現像手段とを有し、該現像処理によって該潜像担持体上に形成されたトナー像を最終的に記録材へ転移させて、該記録材上に画像を形成する画像形成装置において、

前記現像手段として、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の現像装置を用いたことを特

徴とする画像形成装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

上記目的を達成するために、請求項１の発明は、潜像担持体に対して対向配置される現像剤担持体と、前記潜像担持体と前記現像剤担持体とが対向する現像領域に、トナーを往復運動させながら現像剤担持体側から潜像担持体側へ移動させる交番電界を形成するために、前記現像剤担持体に交番電圧を印加する交番電圧印加手段とを有する現像装置において、交番電圧の周波数の切り替えと、前記周波数に応じて D u t y 比の切り替えとを行う制御部とを備えたことを特徴とするものである。